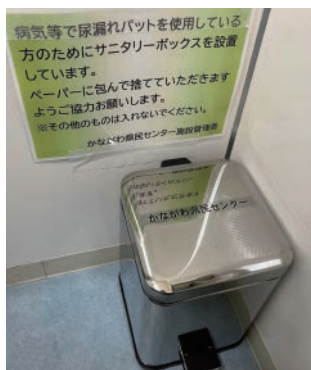




県議会議員 3 期目の仕事

県議会議員 3 期目のスタートを切らせていただいてより 3 年半。「結果」にこだわり、働いてきました。今回の県政ジャーナルでは、3 期目の主な仕事を紹介させていただきます

男性トイレ個室にサニタリーボックス



膀胱がんや前立腺がんなどの治療の影響で日常的に尿漏れパッドや大人用おむつが欠かせない方もおられ、「男性用トイレにはサニタリーボックス（汚物入れ）がほとんど置かれておらず、困っている」との声を伺いました。

そこで、本会議で黒岩祐治知事に、がん患者を支援する観点から、県施設で設置を進めるよう提案。知事は、まずは県庁と県所管の各保健福祉事務所、かながわ県民センターに設置し、その後、順次他の県施設に拡大すると明言しました。

その後、県民センターの男性用トイレの個室に設置されたとの報告をいただきました。さらに設置が加速するよう全力で取り組みます。

県立がんセンター、がんゲノム医療を拡充

がんの組織などを用いて、多数の遺伝子を同時に調べることで、一人ひとりのがんの特徴がわかり、より適した治療を選べる可能性がある「がんゲノム医療」。

公明党県議団は、この「がんゲノム医療」を推進してきており、神奈川県立がんセンターでは、遺伝子を調べる「遺伝子パネル検査」を 2019 年 8 月から行っています。

現在、この検査に保険が適用されるのは、標準治療（治療効果や安全性が確認され、医学的に最も推奨される治療）を終了した患者さんなどに限られています。しかし、標準治療を受けている間に、がんが進行してしまうことも少なくなく、たとえ保険が適用されなくても、治療の初期段階から、がんゲノム医療を受けたいという声も寄せられています。そこで、公明党県議団は本会議で黒岩知事に対し、「こうした声に応えるべき」と訴えました。

知事は「がんセンターでは、2022 年 4 月より、保険適用外である初期段階からのパネル検査も開始する」と答弁。「早い段階で原因となる遺伝子変異が明らかになれば、がんが進行する前に適切な治療を受けることが期待できる」と述べました



受診に関するお問い合わせは、
がんゲノム診療相談センターまで。

受付時間 平日 午前 9 時から午後 4 時
電話番号 045-520-2211